

第 2 回墨田区行財政改革推進会議における意見のまとめ

1 【法外事業の見直しに係る意見】

- ・ 国の制度により個々の事業が影響を受け、それで地方自治体として独自の、特に法外事業の見直しがされるということだが、法外事業は意味があるからやっている。よって、その辺をはっきりさせると、もっとお金をつぎ込む必要があるかもしれない。
- ・ 今回、行政評価シートを確認してみたが、法令根拠から、国や都、区単独での事業等、様々な側面が見えてきた。それぞれの制度が非常に複雑で変化が早い。そのため、外部委託で専門家の意見を聞きつつ、福祉、児童、障害者、高齢者等それぞれの制度に精通した人材を集めることは、財政への影響も大きいし、民意の反映にもつながっていく。

「取組項目 8」民間活力の活用

民間委託等の推進

「取組項目 10」多様な外部環境からの修得

新たな人事交流・派遣先拡大

民間経験者等の採用

「取組項目 13」適正な職員の定数管理

業務量に適切に応じた職員配置

会計年度任用職員や人材派遣等の効果的な活用

「取組項目 21」歳出の適正化

給付・法外事業の見直し

2 【収入の確保に係る意見】

- ・ 行革で財政を考えると、削減の方向に動く傾向にあるが、収入を増やしていくことも大事だという意見があった。骨子案の中にある「収入の確保」について、具体化すべき。

「取組項目 20」収入の確保

- ・ 新たな収入確保策の検討

3 【大学との連携に係る意見】

- ・ 大学のあるまちづくり推進の中に「大学との連携」があり、空き家対策の中にも「大学

との連携」とあるが、どういう形で連携していくのか。ギブアンドテイクなのか、テイクだけなのか、やはり相互で利益になるような大学との連携策があるべき。

「取組項目 7」大学のあるまちづくりの推進

- ・ 大学等との連携

4 【人材育成に係る意見】

- ・ お金だけではない、キャリアアップの場でもあるので、引き続き処遇や待遇に紐付ける形で人材育成を検討してもらえるとありがたい。
- ・ 基本に立ち返り若い職員がもっと現場に足を運ぶ必要があると思う。
- ・ 区ではスペシャリストよりゼネラリストを指向していると書いてあったが、今後は少し考え方を変えていくほうがよい。民間企業でも、ある分野に特化したスペシャリストの職員を育てていこうとしている。

「取組項目 9」職員力の向上

プロフェッショナル職員の育成と活用
研修の実施による職員能力の向上
資格取得支援

「取組項目 10」多様な外部環境からの修得

新たな人事交流・派遣先拡大
民間経験者等の採用

「取組項目 11」モチベーションの向上

キャリア形成支援
職層研修の実施

5 【人事異動に係る意見】

- ・ 一般的に職員の皆さんは、早ければ2、3年で異動してしまう。産業振興の分野においては、職員との信頼関係のなかで、新たな要望やアイデアが生まれてくることも多い。効率的に仕事を進めていくためにも、今までよりも柔軟に人事異動を考えてもらえるとありがたい。
- ・ 墨田区の担当者の皆さんは、とても頼りなる存在である。現場をよく知っている職員の皆さんが異動してしまうのは残念だし、信頼関係を築くのに時間がかかってしまう。こ

のあたりも、何かのタイミングで見直してもらえるとありがたい。

「取組項目 1 3」適正な職員の定数管理

業務量に適切に応じた職員配置

6 【情報格差の是正に係る意見】

- ・墨田区は高齢者が多いので、高齢の方々が乗り遅れないように、情報の発信方法をどうするべきか、タウンミーティングでも問題になっていた。インターネットや、パソコン、スマホ等を使えない方々への寄り添いは外さないでもらいたい。

「取組項目 2 2」区民サービス向上のための情報化

デジタルデバインド対策（情報格差の是正）

（「第 2 編 取組 8」ICT 講習会等の実施）

7 【事務改善に係る意見】

- ・「事務改善の推進」では、全庁共通業務の効率化があげられているが、これから始まる令和 4 年度から令和 7 年度において、コロナと共存した生活を念頭に置かならば、むしろ改革的な意識が重要となる。従来から進めているような細かな改善を図っていくことも大切であるが、大きな変革のなかでは、区民ニーズに適応した形での業務や手続きのあり方を見直し、必要なもの不要なものを精査するような要素があるべき。スピード感や機動性を重視するのであれば、事業ニーズや環境状況を踏まえながら適正な運営を行っていくための改善が必要である。職員の方には、業務が重くのしかかっている状況なので、本当に適正化を進めていくのであれば、大きな目線での改革は避けて通れない。
- ・これからは「業務量は一定でない」という前提に立ち、業務プロセスをゼロベースで見直し、改革を進めていくなかで職員の適正配置を考えていくべき。さらに、より機動的な職員の育成を進めていくのであれば、定型的業務や標準的業務から人の手を開放し、企画や住民対応等、重要な政策決定、意思決定を要する業務に、重点的に配置していく必要がある。

「取組項目 1」事務事業の整理・統合

- ・ 行政評価制度の活用

「取組項目 2」事務改革の推進

全庁共通事務の効率化

各課個別事務の効率化

「取組項目 1 3」適正な職員の定数管理

業務量に適切に応じた職員配置

会計年度任用職員や人材派遣等の効果的な活用

「取組項目 2 2」区民サービス向上のための情報化

ICTを活用した情報発信

(「第2編 取組2」インターネットによる情報発信)

手続等のオンライン化、デジタル化

(「第2編 取組3」手続のオンライン化の推進)

「取組項目 2 3」効率的な区政運営のための情報化

ICTを活用した業務効率化

(「第2編 取組11」AI、RPAの活用)

(「第2編 取組12」内部情報システムの再構築)

デジタル化に対応した職場環境の構築

(「第2編 取組15」ペーパーレス化の徹底)

8 【行政の持続可能性に係る意見】

- ・ 公共施設や公共財産をどのように活用していくのか。その中で、統合して少なくしていく話と、脱炭素を公共施設の方で進めていく話も入ってくる。例えば、適正かつ持続可能な財産管理など、行政の持続可能性について、骨子案から計画を作成する際、忘れないようにしてほしい。

「取組項目 1 5」ファシリティマネジメントの推進

公共施設マネジメント実行計画の推進

公有地の利用法検討と貸付・売却の実施

学校跡地の有効活用

「取組項目 1 7」公の役割を見据えた行政サービスの最適化

窓口サービス(出張所)のあり方の検討

区内循環バスのあり方の検討

保育需要に合わせた公立保育園の適正配置の検討

公園等公衆トイレの適正配置・改築計画の推進

9 【区民参加に係る意見】

- ・ 区民参加の要素が弱い気がする。骨子案では、「戦略的広報の展開」の広報広聴戦略プランに入ってくると思うが、区民参加の要素をもっと取り入れるべき。オンラインでの参加が進めば、若者や働き盛りの方々の意見を集めることができる。「区民サービス向上のための情報化」の中で、もう少し幅を広く区民サービスを想定して、取組項目のなかに仕込んでいくべき。
- ・ 情報の発信だけでなく、区民意見の収集も同時に進めていくべき。「戦略的広報の展開」においても、広報が情報発信に偏っているので、区民参加を念頭に置いた取組を考えてほしい。
- ・ 「ガバナンス」は、基本計画でも用いられている言葉で区民参加を指していると思う。墨田区では様々な委員会があり、そこに集まってくる区民の皆さんは意識が高い。その方々の力をもっと活用すべき。職員と区民が一緒に企画し、意見交換することが大切である。

「取組項目 5」戦略的広報の展開

- ・ シティプロモーション戦略の推進

「取組項目 6」地域力の向上

- ・ 地域力育成・支援計画の推進

「取組項目 2 2」区民サービス向上のための情報化

ICTを活用した情報発信

(「第 2 編 取組 2」インターネットによる情報発信)

手続等のオンライン化、デジタル化

(「第 2 編 取組 3」手続のオンライン化の推進)

10 【ICTの推進に係る意見】

- ・ 「情報セキュリティの確保」の関係所管では、ICT推進担当しか掲載されていないが、ICT推進担当以外の部署も関係するということを骨子のなかに明記すべき。「行政情報化の推進」以外の取組に関しても、ICTが関連してくるはずであるが、関係所管のどこにもICT推進担当の記載がない。例えば、「働き方改革の推進」では、まさにICTを使わないと働き方改革は出来ないはずである。
- ・ ICTの活用について、福祉や医療の分野での話があったが、墨田区では多種多様な伝統産業が築かれている。そのような産業分野においても、ICTの活用は重要な視点となる。

「改革の柱」行政情報化の推進

「取組項目 2」事務改革の推進

全庁共通事務の効率化

各課個別事務の効率化

「取組項目 1 4」働き方の適正化

・ 働き方改革の推進

「取組項目 1 7」公の役割を見据えた行政サービスの最適化

窓口サービス（出張所）のあり方の検討

「取組項目 2 4」情報化を推進するための体制強化

情報セキュリティの確保

（「第 2 編 取組 2 3」情報セキュリティ対策）

11 【町会自治会に係る意見】

- ・ 各町会の掲示板をデジタル化する等情報がどこでも見られるような仕組みがあるとよい。
- ・ 最近では、町会関連の資料をメールでやり取りできているので、非常に助かっている。ただ、行政で使っているエクセルシートのフォーマットが複雑で分かり難いことが多い。行政側で使うフォーマットと、区民側で使うフォーマットを分けてもらうと、事務の効率化につながっていくはず。

「取組項目 2」事務改革の推進

各課個別事務の効率化

「取組項目 6」地域力の向上

・ 地域力育成・支援計画の推進

「取組項目 2 2」区民サービス向上のための情報化

ICTを活用した情報発信

（「第 2 編 取組 2」インターネットによる情報発信）

手続等のオンライン化、デジタル化

（「第 2 編 取組 3」手続のオンライン化の推進）

12 【公共施設に係る意見】

- ・ 公的施設はいざという時のための施設であって、極端に言えば、学校も有事には避難場所になる。いわゆる幹線型の考え方ではなく、複線型の政策イメージを持つべき。そうすると、それぞれの施設の位置付けも変わってきて、施設の見直しも必要になってくる。

「取組項目 15」ファシリティマネジメントの推進

公共施設マネジメント実行計画の推進

13 【行財政改革の推進体制に係る意見】

- ・ 行財政改革の実施体制について、いわゆるトップダウンで決めていかないと調整がつかない部分が多々あると思う。今回のアンケートの際、行財政改革推進ナビゲーター会議の中で進めてきたようであるが、行財政改革に関わる担当者の方々の権限を強化し、推進体制を整えて、トップダウンで進めることができれば、行財政改革がより前進するのではないか。

「計画の推進体制」

- ・ 墨田区行財政改革推進本部
- ・ 墨田区行財政改革推進会議
- ・ 墨田区行財政改革推進ナビゲーター会議（PT（プロジェクトチーム））
- ・ 推進状況の公表

14 【職員アンケートに係る意見】

- ・ アンケート結果においても、自分の仕事と、行財政改革実施計画との関係性を知らない職員があまりに多い。職員の育成も含めて、何らかの対応策を具体的な取組の中に盛り込んでほしい。

「取組項目 2」事務改革の推進

全庁共通事務の効率化

「取組項目 9」職員力の向上

プロフェッショナル職員の育成と活用

研修の実施による職員能力向上

「計画の推進体制」

- ・ 墨田区行財政改革推進本部
- ・ 墨田区行財政改革推進会議
- ・ 墨田区行財政改革推進ナビゲーター会議（PT（プロジェクトチーム））
（連携強化）

職員に行財政改革を「自分事」として捉えてもらうため、計画の推進に係る研修を実施する

ご指摘のあった職員アンケートの集計結果は、行財政改革推進ナビゲーターを通じて、職員に報告済み

- ・ 推進状況の公表

15 【区政運営に係る意見】

- ・ 区政運営にあたっては、財政状況や、事業の進捗状況、イベントの来場者数、成果目標の達成状況等、それらの情報をいかに早く入手できて、現在の状況と照らし合わせた上で、今後どのように事業を進めていくのか、必要に応じて軌道修正していくことが求められる。区政運営に必要な判断をしていくために、必要な情報を適時入手できる体制と、その情報を分析できる力を育成していくことが非常に重要なので、それらを踏まえて、骨子案にある取組を進めていかなければならない。

「取組項目 1」事務事業の整理・統合

- ・ 行政評価制度の活用

「取組項目 9」職員力の向上

プロフェッショナル職員の育成と活用
研修の実施による職員能力向上

「取組項目 13」適正な職員の定数管理

業務量に適切に応じた職員配置

「取組項目 23」効率的な区政運営のための情報化

データを活用した区政運営

（「第 2 編 取組 14」データを活用した施策の展開）

16 【広報広聴に係る意見】

- ・新型コロナへの対応等、墨田区の良いイメージが区内だけでなく区外の方々にも届いている。最近、区外の方から「墨田区ってすごいよね」と、よく言われる。そういったことを捉えて、墨田区に住んでみたいという人を増やし、区民活動にも参加してもらい、活性化につながっていくような好循環を途切れさせないようにすべき。

「取組項目 5」戦略的広報の展開

- ・ シティプロモーション戦略の推進

「取組項目 6」地域力の向上

- ・ 地域力育成・支援計画の推進